

認知症に関する活動計画（概要）

高知県作業療法士会では、2017年度より認知症の方に対応できる人材育成と作業療法士の地域参画を目的に、地域連携部認知症班として活動を行っている。

地域事業として、2021年度より班員が認知症カフェの運営に携わり開催している。また、介護予防事業の一環として認知症をテーマに講話の依頼があり地域住民の方への啓発活動を行っている。今後も、地域活動での人材育成や介護予防、認知症支援事業に作業療法士が参画できるよう活動していく。

認知症カフェへの参画

2021年度より認知症の方を支えている方の支援をコンセプトに、認知症カフェ「カフェけらけら」の企画・運営を行い、今年度で4年目となる。開始当時は県内の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止であったり広報をあまり広げず開催していた。昨年度より、今まで行えていなかった茶話会を行うことができおり、テーマに限らずその場で話題に上がった内容について情報交換や助言を行っている。今年度（8月開催分）からは、喫茶店をお借りし、より入りやすい・参加しやすい雰囲気づくりを行いつつ、地域住民の方々の交流の場となっている。また継続して認知症カフェのロゴを用いて活動のPRとしている。



地域連携部 認知症班 研修会

<2023年度 地域連携部認知症班研修会>

期 日：2023年11月4日（土）

場 所：こうち男女共同参画センター「ソール」研修室1・2

参加者：29名

社会参加型デイサービスの経営者であり、若年性認知症当事者の方をお招きし「作業療法士に期待すること」をテーマに講演・ディスカッションを行った。

参加者からは、「作業療法士の役割や地域で必要とされていることが聞けてよかった」「アセスメントではできることを沢山みつける、見えない時間を大切にするなど、OTとして大切な視点を再認識できた」等の意見が聞かれた。



<アップデート研修の実施>

参加者が年々減少していることもあり、2023年度は開催せずに内容の変更に取り組んだ。2024年度は高知県版認知症アップデート研修（認知症基礎研修2024）を11月に開催予定としている。